

# 県産木材を活用した木造公共施設(平成29年度)

## 長崎県庁舎 行政棟、議会棟、警察棟(長崎市)



### □ 概要

#### 1 建築概要

- ・延床面積 行政棟46,565㎡、議会棟6,699㎡、警察棟11,639㎡
- ・構造 行政棟 RC造 地上8階、議会棟 RC造 地上5階、警察棟 RC造一部SR増 地上8階
- ・木材利用量 300m<sup>3</sup> (県産材 275m<sup>3</sup>)

#### 2 特徴

行政棟及び議会棟の県産のスギを使用した外装ルーバーが特徴的です。  
この外装ルーバーにより、西日を避けることができ快適な室内空間を提供しています。  
また、行政棟及び議会棟の1階のエントランスホールの天井にも県産のスギがルーバーとして使用されており、来庁者を優しく迎えています。



棟区分	部屋等	使用箇所	仕様・規格	樹種
行政棟	西側～北側 ・バルコニー	外装木ルーバー	○フェノール系保存処理木材 ○主な木材の規格（寸法） 110～115mm×110～115mm×3500～4500mm	スギ



2階 食堂横



2階 食堂横



8階 展望室

棟区分	部屋等	使用箇所	仕様・規格	樹種
行政棟	2階・8階 ・屋上	外装デッキ	○木粉+再生プラスチック 複合木デッキ	スギ



棟区分	部屋等	使用箇所	仕様・規格	樹種
行政棟	車寄せ軒	天井	○フェノール系保存処理木材	スギ



主成分のホウ酸化合物が、250度以上の高温になると吸熱分解反応を起こし、対象物の温度を発火温度以下に抑えます。それと同時に、成分中の結晶水が消化作用を機能させます。さらに、この反応により不燃性生成物が生じ、対象物から発生する可能性ガスの濃度を下げます。また一方、この不燃性生成物が対象物に固着することで、周囲への影響も防ぎます。火災とは、火種の熱で対象物中の炭素が可燃性ガスとなり、それが空気中の酸素と化合し（これがいわゆる「燃焼」です）、そこで発生する熱で新たな火種が発生し、それが周囲に広がる現象のことをいいます。ファイヤーレターデント防燃水が持つ、すぐれた効果の秘密は、炭素（可燃性ガス）という燃焼の原因を取り除いてしまうところにあります。また、もう1つの燃焼の原因である空気中の酸素を遮蔽する効果も併せ持っています。

- ① 乾燥(養生含め7日程)
- ② 材料の含水率・重量全数測定  
-全戸コンパイルング  
-含水率は15%程度を可とする
- ③ 注入作業  
(真空加圧注入、約15時間程度)
- ④ 液量測定検査  
-全数、注入前の液量との差異を算出  
注入前重量-注入後重量=液量
- ⑤ 当品質管理重量適合材を仕分け  
-不適合材は再注入
- ⑥ 自然養生(21日程程度)  
-適切な養生期間を調べる事が  
製品の仕上がりに影響を及ぼし  
ます
- ⑦ 二次乾燥(7日程程度)
- ⑧ 加工作業
- ⑨ 梱包
- ⑩ 出荷

※全ての工程で60日程業します。  
 (但し、在庫品の場合は、14日程で出荷が可能)  
 ※注入のみの依頼(③を除く)も承ります。  
 ※持ち込み材(乾燥材)の場合は、含水率15%程度としてください。

棟区分	部屋等	使用箇所	仕様・規格	樹種
行政棟	1階・2階 ・エントランスホール	天井ルーバー 壁	○不燃加工材	スギ



棟区分	部屋等	使用箇所	仕様・規格	樹種
行政棟	1階 ・県産品コーナー	内外装	○不燃加工材	スギ



棟区分	部屋等	使用箇所	仕様・規格	樹種
行政棟	1階 ・文化観光情報コーナー ・県政情報閲覧コーナー	天井ルーバー	○不燃加工材	スギ



棟区分	部屋等	使用箇所	仕様・規格	樹種
行政棟	2階 ・受水槽室	木製受水槽 4基 上水用2基 雑用水用2基	<ul style="list-style-type: none"> <li>○芯去り赤身材 外部塗装 上水用：槽内うるし塗装仕上げ、雑用水：防腐処理材使用</li> <li>○主な規格（寸法） <ul style="list-style-type: none"> <li>・底板・側板 70mm×110mm</li> <li>・蓋板 40mm×110mm</li> </ul> </li> <li>○水槽の大きさ 上水用：直径4.5m、深さ2.0m、有効貯水量20m<sup>3</sup>/基 雑用水用：直径5.4m、深さ2.0m、有効貯水量36m<sup>3</sup>/基</li> </ul>	スギ